



「普通」。
きらり。
わかんない。

ノルマル17歳。

— わたしたちはADHD —



normal17.com

鈴木心緒 西川茉莉
真鍋かおり 福澤朝 村野武範

監督:北宗羽介 脚本:神田 稔・北宗羽介 音楽:西田衣見



「普通」に見られない女の子たちが
「本当の普通」の世界へ旅立つ物語。

入場無料

日時

令和8年
7月12日
(日)

- ①昼の部 14:00~
- ②夜の部 18:30~

いずれも
15分前開場
全席自由

会場

中札内文化創造センター
ハーモニーホール
(中札内村東4条南6丁目1-3)

申込み

右のQRコードから
お申込みください

<https://www.harpp.jp/RXdfA3TJ>



お問い合わせ

中札内村役場
福祉課福祉グループ
☎155-67-2321



中札内スペシャルニーズプロジェクト実行委員会
☎090-7645-7831(代表 川田)
E-mail na.specialneeds@gmail.com



ノルマル(ノーマル) = 「普通」

映画「ノルマル 17歳。」は、ADHD とは何かを描いた作品ではなく、「ADHD」と見なされた人やそれを取り囲む人たちが、その「言葉」や「記号」の枠組みの中にとらわれ、その無理解の中で苦悩していく姿を描いている。

私たちの多くが「普通」「常識」的に生きていると思いがちな中で、「自分が思っている普通の世界が本当に普通なのか」を見直す、心の旅立ちの物語だ。

「普通のものさし」で見ると、彼女たちは問題児。

「普通のものさし」で生きづらさを感じている彼女たちが、「普通」から脱出し、「本当の普通とは何か」へと目覚めていく。

タイトルの「ノルマル(ノーマル) = 普通」にその思いが込められている。



～story～

進学校に通う真面目な女子高生・絃(いと)は ADHD と診断されており、ひどい物忘れで生活や学業に支障をきたしていた。

重要なテストの日に目覚まし時計をかけ忘れて寝坊してしまった絃は、ショックのあまり登校できず、街をさまよう。

見知らぬ公園にたどり着き、茶髪で派手なメイクの女子高生・朱里(じゅり)と出会う。

自分と同じ ADHD であると言う朱里に強引に誘われ街へ遊びに行くが、普段は家と学校の往復しかない絃にとって、そこにはすべてが新鮮に感じられる世界があった。

彼女と友だちになる絃だったが、派手な身なりの朱里に不快感を抱く絃の母から交際を禁じられてしまう。

一方、朱里は自身の物忘れが原因で姉と喧嘩が絶えず、両親からも厳しく責められて家庭内で孤立していた。

やがて朱里は絃とのメッセージのやり取りもやめ、次第に部屋に引きこもるようになってしまう。

...

ADHDとは？

ADHD(注意欠如・多動性障害)とは、発達障害のひとつで、多動性、不注意、衝動性といった3つの特性があり、じっとしていられなかったり、忘れっぽく集中が続かないといった行動が現れます。

明るく活発な性格にも見えますが、周りからは、「自分勝手な人」「だらしない人」などと誤解されてしまうことがあります。



～ごあいさつ～

10年前、私たちは不登校、発達障害を知ってほしい、という想いから啓発活動を始めました。世の中では様々な分野で発信が大幅に広がりコロナ禍を経て、不登校も発達障害も珍しい言葉ではなくなり、一定の理解が進みました。

子どもの課題だった発達障害は、10年経ち大人の課題にシフトしています。大人社会ではまだまだ理解が及んでいない状況で、生きづらさを抱えている方が多くいるのが実情です。

脳の機能障害による ADHD の特性は、努力や根性で改善するものではありません。

その人らしく自信を持って生きていくためには、周囲の理解や支援、配慮がある環境が重要です。

上映会を通じて障害を正しく知り、障害に苦しむ本人やその家族の気持ちに寄り添える寛容な地域社会になっていくことを願っています。

ご来場を心よりお待ちしております。

中札内スペシャルニーズプロジェクト実行委員会

中札内村では、障がいに関する理解を深め、誰もが住み慣れた地域で尊厳をもって生活できる共生社会の実現を目指しています。

この上映会は、障がいのある方の日常や社会的課題について参加者が主体的に考える機会になることを目的としています。